



第一回 白鷹中学校修学旅行

東京で学ぶ。白鷹創生

「白鷹創生」のヒントをつかもう！

— 白鷹を探せ —

9月9～11日の日程で行われた、白鷹中学校第一回目の修学旅行。キーワードは「白鷹創生」。白鷹の良さや、現在白鷹にあるものを伸ばす・広げることに関心をもち、東京で白鷹に関連するものを探し、白鷹人としての意識高揚を図ることをねらいとした、自主研修を実施。生徒たちは各グループごとに、東京に住む白鷹出身の人や白鷹出身の人が働く企業に訪問し、インタビューや体験学習をして、白鷹創生のヒントを得てきました。

修学旅行2日目。生徒たちは5、6人ずつ、30班に分かれての自主研修。紅花や天蚕紬、野菜や農産加工品など、町の特産品を扱ってくださっているお店や会社、町内の企業の本社を訪問しました。中でも4班20人は、白鷹サテライトオフィスの会議室をお借りして、町観光交流大使の青木実さんと上原恭子さんのお話をお聞きしました。修学旅行を通して白鷹町のどんなことを知り、白鷹創生についてどういう考えを持ったのでしょうか。修学旅行に同行し、取材しました。



白鷹観光交流大使
青木 実 さん

東京での、楽しいこと、学んだこと、いい思い出になりましたか。僕も白鷹中学校の皆さんとお会いできて、とても勉強になりました。

観光交流大使の上原さんがおっしゃっていた「白鷹は宝の山」、本当にそうなんです。豊かな自然、農産物、そして、そこに暮らす人々…。毎日の生活の中で、宝物を見つけてください。そして、ちょっと未来のことを想像してください。

みんなが元気で、町が元気で、「気になる町、しらか町」にきつとなると思います。